

市長田村克也の

お手紙

届けます。



新病院基本設計を記者発表（4月9日）

令和8年度予算と新病院整備

三田市長

田村克也

若葉が日差しに照らされ、爽やかな風が心地よい季節となりました。自然に恵まれた三田の魅力や、日々の生活や散策、アウトドアなどで実感していただき、この素晴らしい季節をお楽しみください。

さて、今号は、令和8年度予算の概要をお伝えしています（4頁参照）。昨年度の「6つの無料化」に加え、今年度から新たに小学校の給食費を完全無料化しました。これは、国の補助施策を利用し、国基準を超える額を市が補助することで保護者負担をゼロにしました。また、農業の担い手確保に向けた支援や、家庭の経済状況による体験機会の格差への懸念から、小・中学生を対象とした「ひとり親家庭体験学習支援」など新たな取り組みにも予算を配分しました。なお、新規事業の詳細は決まり次第、随時お知らせしていきます。

また、先月、三田市民病院と済生会兵庫東病院の統合に伴う新病院建設に係る基本設計を発表しま

した（8頁参照）。新病院は、三田・北神地域の救急医療を維持し、市民の皆さんの命を守り抜くためになくてはならないものです。物価などの高騰に伴い、7年2月の基本計画策定時から概算整備費が56億円増額し、577億円となる一方、交付税措置や県補助金の増額により、整備費における市の実質的な負担額は逆に12億円減額しました。

私は全国市長会の社会文教委員会の評議員として、地方の医療機関の状況を踏まえ、国への財政支援を訴えるとともに、本市単独でも国・県へ支援を強力に求めてきました。中東情勢の影響などによる物価高騰も考慮し、引き続き国や県、また企業などからの支援により、市の財政負担をできる限り抑えられるよう取り組んでまいります。

高度な医療の提供とともに、すべての命に寄り添い、市民の皆さんに安心して医療を受けていただける、親しまれる病院づくりを推進していきます。

Mayor's Photo Diary



3月24日 全国青年農業者会議でプロジェクト発表し、最高位の農林水産大臣賞を受賞した前澤宏一さんが来訪



4月1日 新たに名倉嗣朗副市長が就任。兵庫県の県民局副局長などを務めた経験を生かし、共に市政を推進



4月5日 「人力車でさくら狩り」を開催。雨により順延し、晴天の中、多くの人に三田の魅力を発信（郷の音ホール）